

一般質問の要旨



観光事業について

稲浦 巖

問 日高市は首都圏50km圏内にあり、観光事業に適した自然環境と景観、歴史・文化資源に恵まれ、春夏秋冬に応じた観光が楽しめる地域であり、巾着田・日和田山地域を中心とし、高麗神社を始めとした歴史遺産を活用した観光事業を実施している。市が関与する観光事業の実績と経済的効果は、

答 市の観光入込客数は平成30年に約402万人、その後コロナウイルス感染症の影響で令和2年に約280万人となつている。また、市が直接関与する観光施設である巾着田、高麗郷古民家、市のイベントである市民まつりの合計客数は、令和元年が約72万人、その後コロナ感染症の影響で令和2年が約24万人に激減している。

問 日高市は首都圏50km圏内にあり、観光事業に適した自然環境と景観、歴史・文化資源に恵まれ、春夏秋冬に応じた観光が楽しめる地域であり、巾着田・日和田山地域を中心とし、高麗神社を始めとした歴史遺産を活用した観光事業を実施している。市が関与する観光事業の実績と経済的効果は、

答 市内に宿泊施設がないことは長年の懸案事項で、現在でも計画はない

問 道の駅のような地元物産の販売等をする施設誘致についての考えは。

答 道の駅の整備については、道路管理者と市が整備する一体型と、市が全てを整備する単独型の二種類がある。整備に当たっては国で登録されることになるが、本市においては、既存の施設等を踏まえても設置する事は大変難しい状況である。



巾着田から見た日和田山

身体障がい児の日中活動の保障について



田中 まどか

問 身体障がい児が利用できる放課後等デイサービスが少ない中、市の事業である日中一時支援が受け皿となつている。しかし日中一時支援の報酬単価は非常に低く、本市は送迎加算を付けていないため、事業者は採算がとれない。身体障がい児の日中活動の保障のため、近隣市町のように送迎加算を付けられないか。

問 日高市消費者安全確保地域協議会の役割は。

問 取組みの進捗は。

答 送迎加算を付けている近隣市町では、1割程度の利用者負担があるが、本市は利用料を無料としている。利用者の利便性と公平性を考慮して制度設計していく必要がある。

答 構成員である行政機関、警察、社会福祉協議会、地域包括支援センター、消費生活相談センター、市内26か所の協力事業所等が日々の活動の中で高齢者等の異変を早期に発見し、被害の未然防止と必要であれば福祉部門につなげることである。実際に早期解決や支援につながった事例がある。

答 子育て世代に向け、周知用チラシを保育所等で配布するよう調整している。高齢者の投票所への移動支援として、おでかけ支援事業の使用を周知する。

消費者被害防止について

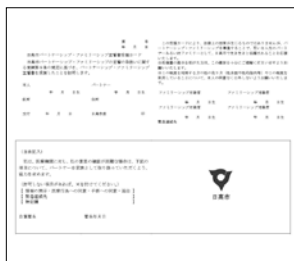
問 市の消費生活相談における相談の傾向は。

問 期日前投票所を増設する考えは。

答 高齢者からの相談が多く、リフォームなどの契約・解約や通信販売に関するトラブルが多い。

答 令和4年度から、日高市子育てファミリーウエルカム事業補助金の申請ができるようになった。今後については、全庁的に事業の洗い出しを行い、その上で手続き等個別に確認作業を行っている。

答 一日当たり人件費だけでなく50万円程度かかる費用と効果を見極めつつ、検討を進めていく。



宣誓書受領カード